

会議議事録

事業名	2023年度教育課程編成委員会
会議名	第1回建築職人マイスター専攻科部会
日時	2024年3月8日(金) 14:00 ~ 15:30
場所	k 202
出席者	<p>太田 幸信委員 (日本工科大学校 マイスター専攻科大工講師)</p> <p>池田 健 委員 (播磨左官業組合)</p> <p>井上 雅仁委員 (井上晴登建設 代表取締役)</p> <p>矢部 宰文委員 (日本工科大学校 校長)</p> <p>森本 徹之委員 (日本工科大学校 建設学部長)</p> <p>田中 政人委員 (日本工科大学校 マイスター専攻科担任)</p>
会議目的 要 旨	<p>1. 開会 矢部委員の言葉で第1回建築職人マイスター専攻科部会が開かれた。 開会の挨拶と共に教育課程編成委員会の趣旨委員任期を説明した。</p> <p>2. 議事</p>
矢部委員	<p>本日は御陰様で無事に卒業式を終えることができました。 皆様におかれましては教育活動にご尽力くださりまして誠にありがとうございます。 この後も続けて教育課程編成委員会にご参加いただきますが よろしく願い申し上げます。</p>
田中委員	<p>本日はマイスター専攻科の会議ということでマイスター専攻科について 問題点や課題についてご意見を伺いたいと思います。 来年の入学生は大工が6人、左官が2人です。 建築の方もかなり減っており非常に運営が厳しくなるという予想をして おります。 それに伴い今までの反省点ないし来年の課題が出てくると思いますので 昨年を通して失敗した点があれば挙げていただきたいと思います。</p>
太田委員	<p>こちらへ勤めて10年になりますが最近は材料も順調に入れてもらえますので マイナス点というのはあまり感じなかったです。 強いて言えば場所が少し狭いことと、駐車スペースのことです。</p>
田中委員	<p>学生の行いとか振舞に不具合な点はありましたか？</p>
太田委員	<p>今年の学生が一番言うことを聞いてくれたと思います。 ただ欠席は多かったです。</p>
田中委員	<p>承知しました。では去年の反省点その他気付いたことなどあればお願い します。</p>
井上委員	<p>学校と違って課外授業とかインターンシップとなると企業側が テーマをちゃんと与えて目標をつけてあげれば子供たちはしっかり 良くなっていきます。 例えば何をしたいかわからないと覚えようではなく休憩をしてしまうので これも教育なんだろうけど前向きに取り組む姿勢を僕ら企業側が やっていかないとと思いました。</p>
田中委員	<p>学生の振舞や行動で気になる事はありましたか？</p>
井上委員	<p>やっぱり学校ではなく企業なので子供たちも緊張感を持って来てくれるので 朝の挨拶から返事までしてくれます。学校で教えていただいていると感じて いますし、多少学校で先生には甘えていたとしても企業側にはしないので インターンシップに真面目に取り組んでいるという印象があります。</p>
田中委員	<p>森本先生から見てどうでしたか？</p>
森本委員	<p>私から見ると職人の仕事に対する温度差が生まれた年かなという印象です。 要はやる気のある学生と無い学生の落差が激しかった年でした。 熱い学生は熱い学生で良いので、低い学生をいかに上げていこうか課題だと思 います。 インターンシップ先でも傍観しているばかりでは技量が上がらないのに 腕を組んで人がやってる作業を見ているのは違うと思いました。 その温度差をこれから入ってくる新入生に対して意識し、低い温度の学生を</p>

田中委員 田中委員
森本委員 森本委員

いかに前に出していくかということが学校側の課題じゃないかと思います。
学生の振舞についてはどうでしたか？
先生方からは非常に良い評価をいただいておりますが、私はまだまだだと思ひます。
学校にいますとどうしても身内感覚になってしまひますが、やはり他の学科の学生の質と比べると、マイスターの子たちは作業に対する意識は高いけれどそれ以外のモラル等に関して言えば特に今年の学生はかなり低いです。そういった意味では建築学科の施工の方がまとまっていた印象です。
良きにつけ悪きにつけ建築職人マイスターにおいては外へでたり作業が見えたりするので振舞が目立ちます。
規律のある行動言動においていさめる場面をもうちょっと作っておかないといけないと思ひました。
それもキャラクターだという認識はありますが、やはりこれから彼らが社会に出たときに今後苦勞するだろうという思ひなので、その差をできるだけ埋めてやるのが我々の仕事だと感じます。
職人の先生に関して言えば、非常に作業は前向きでしたという評価をいただいております。そういうようなところはもっと強化していくべきと思ひました。

田中委員 田中委員

私は担任をもって気付いたことですが、今度の2年生は普段の生活がだらしないと思ひます。
掃除にしても片付けにしてもだらしないので普段の振舞はどうですかと質問をさせていただきました。
仕事はもちろんです、整理整頓していくのは職人にとっては当たり前のことなので指導が緩かったのではないかと思ひます。
その辺りを来年は少しずつ変えていくつもりではあります。

井上委員 井上委員
森本委員 森本委員
太田委員 太田委員

いざとなれば出来るとは思ひます。
学外では出来ると思ひます。
最初はぎこちない部分もあり挨拶もあまりしないけど慣れてくると挨拶はするよう指導してました。
仕事は素人が見ても分かりませんが、挨拶や掃除は誰が見ても分かるので掃除が行き届いていればこの人は仕事も信用してもらえますので、挨拶と掃除は厳しく指導してきました。

田中委員 田中委員

それは基本であつてお客様に喜んでいただくには技量があつても評価してもらえなくなります。それを踏まえて今年をどうしようかと考えています。まず森本先生が退職されますので、これまでは森本先生が段取りをされていましたが、今後は材料の発注においても前もって注文書に書いていただくこととなります。
急に当日になつてこれが無いということのないようお願いします。

太田委員 太田委員

森本先生は流れを把握されていましたがこの度新しい先生に代わられたので基本的に実習棟内のことは触らないようお願いします。
2年間の計画書も提出しますので、今まで通りの流れでお願いします。

森本委員 森本委員

太田先生が仰っているのは、年度の切り替わりの片づけは構わないが普段の作業内容に関しては任せて欲しいということです。
よつて片づけはどんどんやっていくべきだと思ひます。

田中委員 田中委員

その辺りは気を付けますし、長期的にやっていく予定です。
材料に関しては、今日やることがないという事態は避けたいです。
もう一つは来年度以降は左官の募集を廃止することが決まりました。
理由としては今年も2人で来年度以降もなかなか増える見込みがなく経営に問題が生じるという学校の判断です。
大工があつて左官が無いというのはおかしいという意見もあるかと思ひますが学校としては厳しい状況です。

井上委員 井上委員

左官はどんどん減っていく職種なので、他の学校は衰退したとしてもこの学校だけはモデル校として残っていて欲しいです。
せっかくいい棟梁もいらつしゃいますし私も協力していきます。
学校の経営や中身は分かり兼ねますが、学費は同じですか。

田中委員 田中委員
森本委員 森本委員

同じです。
ただ1学年に対して先生が1人、大工は15人生徒がいて、かたや左官は2人しか

いないです。最初は大工だけしかなく左官ができたことで外に対する仕事の幅は広がりました。

姫工の茶室しかり、もし大工だけだと軸組作って終了となります。そういう意味でも左官の廃止に関しては再考するべきだと思います。当初は誰かがやらないとという使命感を持って取り組んでいたはずが私が辞めることもあり急に先生が居ないから無理という判断になっています。職人の先生もいつまでも居るわけではないなか後釜の計画性がないままここ数年進んでいたところがあります。

左官の必要性、ニーズは本来あります。

井上委員 実際5年インターンシップを受け入れさせてもらっていますが、左官の方が需要が多いです。

田中委員 左官が足りないのになぜ応募がないのでしょうか。

森本委員 学校のコマーシャルが弱く認知が無いと思います。

池田委員 大工希望だった学生がこんな学科もあるのかと何人か左官に変わったことがあり、やってみたら面白く選んでよかったと言っていました。

田中委員 この春から入学する学生にも体験を通して大工から左官に変わった学生がいます。

森本委員 要は左官の認知問題があるので、人数が減ってきたから廃止という方向性も理解できますが、決断が早いと思います。

田中委員 PRする場も少ないです。

森本委員 私は大工左官の価値が分かっていますが、他の先生方においては知識の無さ熱量の無さが露呈してしまいます。

建築の先生にとってマイスターは別の科という認知なので、もっと関わっていかないとマイスターの学生は増えていかないとします。

井上委員 学校から高校へ左官をどれくらいアピールされていますか。

森本委員 パンフレット自体は大工と左官半ページずつくらいです。

田中委員 左官を希望する学生は自分で調べてからきます。

森本委員 それは本当に一部で今年で言えば相原や山口とかは放っておいてもきます。ただ、なんとなく自分はデスクワークには向いてないけどアウトドアの仕事なら性に合っていると思って大工志望できた学生が左官に変わることもあるということなので、もっとアピールする努力が必要だと思います。

太田委員 左官の記事などを利用して全国的に学校がアピールしたらどうですか。

井上委員 時代の流れもあり仕事が減っているのは仕方ないですが左官は守らないといけないと思います。

社寺建築やお城、古民家などは直していく職人が必要ですし守りたい方がいます。

その前の段階が学校でありものづくり大学や日本工科大学校のような学校でまず覚えて工務店等の門をたく学生が増えてきました。

田中委員 高校は大工の授業しかない為余計に左官の学生がいなくなってしまう。条件の良い安定した会社で働くために施工管理技士を目指して入学する学生が多いです。

井上委員 例えば2年のうち半年だけ大工の学生も左官を覚えることはできませんか。

森本委員 かつてはものづくり大学で実施されていました。

ただ、やはり左官を片手間でやるのと本気出して覚えるのは違ってくるとします。

井上委員 無くしてしまうくらいならそういう方法が出来ればと思いました。

どちらも体験することで大工に向いてないと気付いて左官業の就職先を探す学生が出てくる可能性もあります。

そういう道を作るのも学校の一つの役目かなと思います。

太田委員 他の専門学校は1年とか3週間のうちの週1回といった実習で短期間で習得していますが、この学校は2年間あるので貴重だと思います。

田中委員 カリキュラムの半分は実習です。

太田委員 もっと全国に左官をアピールして学生を増やしてもらいたいです。

森本委員 大工コースは探せばありますが左官コースがあるのは全国で唯一日本工科大学校だけなのでそれをなくしてしまうのは惜しいと思います。

田中委員 大阪の専門学校では40人も入学すると聞きました。

森本委員 本校はPRが出来ていないと思います。

校長も理事長も外にアピールが必要と言い出しましたが、早く左官コースは武器だと気が付くべきでした。採算ベースがとれないのは始めから分かっていたことなので安直になり過ぎています。

田中委員 以前退職された嶋田先生はインスタグラム等を活用していました。

森本委員 即効性があるものではないので数年後に左官コースについて問い合わせがあるなど響いてくると思います。

井上委員 古民家は土壁なので現場は左官を求めています。

森本委員 高校生の認知度だと思います。

井上委員 小学校や中学校くらいからアプローチしないと、いきなり高校生に言ったところでだいたい進路きまっています。

森本委員 オープンキャンパスをするにしても中学校向けをしたらいいと思います。過去にはトライやるウィークで左官もしたことがありますが、対応する人材が居ないという根本的な問題があります。誰でも対応できると思うのは大きな勘違いです。井上社長は素人の方を相手に上手にされます。やはり「面白い」と思わせないと逆効果です。

井上委員 学生が出前授業で兵庫県の小学校に出向いて教えるとかはないですか？

田中委員 高校への出前授業は何回か実施しました。

太田委員 大工はこちらでキット作って教室や体育館で組み立てることはできますが左官はしにくいと思います。

田中委員 以前神戸市立科学技術高等学校で左官の出前授業をされていました。

森本委員 現在は左官組合の方が主でされています。

井上委員 学生は子供を相手に上手に教えることが出来ます。

森本委員 姫路工業高校の学生にも丁寧に教えていました。

太田委員 2年生になると立場が先輩になり成長します。

森本委員 教えられる立場が教えることの難しさを知ったら教えられることに素直になり、2年生は成長します。一生懸命教えることが難しいと知ると、先生が今までと同じことを言っても聞き入れるようになります。入学当初は先生が何を言っているか分からないと言っていた学生も成長が目に見えてくるのでマイスターは面白いです。1年生のうちはお人形状態で何をしたら良いのか分からない状態なのでもっと出前授業を増やすべきだと思います。

太田委員 最初はのみなんか持ったこともないのでバッドの素振りみたいなものですがそのうち物を作りだしたら結構集中して技量がついていきます。

田中委員 なぜ実力に差がつくと思いますか？

森本委員 それはやる気の温度差です。当たり前ですが、やる気があれば上手になりなければ眺めているだけです。

池田委員 器用不器用もあると思います。

太田委員 2年生の後期になれば実習時間を忘れて作業をしています。

田中委員 今年は力量の差がこんなにあるのかと驚きました。

太田委員 自分の若い頃は見て覚える時代で手取り足取り教えられたことがないです。この学校では2年間しっかり言葉で伝えるので結構覚えます。

田中委員 左官の方が現場では即戦力になりますか？

井上委員 左官に比べると大工は現場で流動して動くのでやることが多いので育つ時間は長いです。

森本委員 マイスターを立ち上げる段階で左官はおよそ5年あればそこそのものを塗れるようになりますが、大工が5年で1人前になるかというところはいかず10年はかかります。左官と同じ給料でも5年と10年の差はあると思います。そういった面でも左官を廃止してしまうのは惜しいと思います。

井上委員 街の活性化になるような物件を請け負うようになりそれが偶然古民家であったり左官工事であったりという工事が続きました。その中でウエイトを占めるのが左官です。古民家を請け負う中でブームもありますし、これからも古民家は増えますので、やはり土壁修繕や漆喰を塗る作業は増えていきます。ぜひ子供たちを育てる学科は残して欲しいと思います。

田中委員 井上委員	<p>例えばマイスターというくくりで左官2大工8という比率で実習をすることはできないですか。</p> <p>マイスターをひとくくりにして大工と左官を両方やるということですか。大工は左官も基礎工事も板金も全て覚えないといけないので大工を主で教えていただきたいです。</p> <p>昔は左官屋さんや土木屋さんを手伝いながら修行して成長しましたが、今はそれが無い時代なので学校で教えていただけるとはこんな有難い話はないです。</p>
田中委員	<p>総合職人ですね。今日はここまでにし、明日この続きについて協議します。本日は貴重なご意見をありがとうございました。明日もよろしく願いいたします。</p>
3. 閉会 以上	

会議議事録

事業名	2023年度教育課程編成委員会
会議名	第2回建築職人マイスター専攻科部会
日時	2024年3月9日(土) 11:00 ~ 12:00
場所	k 202
出席者	太田 幸信委員 (日本工科大学校 マイスター専攻科大工講師) 池田 健委員 (播磨左官業組合) 井上 雅仁委員 (井上晴登建設 代表取締役) 矢部 宰文委員 (日本工科大学校 校長) 森本 徹之委員 (日本工科大学校 建設学部長) 田中 政人委員 (日本工科大学校 マイスター専攻科担任)
会議目的 要旨	1. 開会 矢部委員の言葉で第2回建築職人マイスター専攻科部会が開かれた。
矢部委員	2. 議事 昨日に引き続き、教育課程編成委員会にご参加いただきますが よろしくお願ひ申しあげます。
田中委員	昨日の続きで、総合職人についてのご意見をお願いします。
森本委員	最終的に大工か左官を選び卒業後は専門職です。 在学中に専門職を決めさせるのは勿体ないのではないかと、学生がいらないから 左官コースを廃止しますというのは勿体ないのではないかとという意見です。 多能工を育てるという意味ではないです。
井上委員	ほぼ決まっていることで覆すのが難しいようでしたら、せめて大工コースを 残すのであれば授業の一環に左官を入れて欲しいというのが私の希望です。 出来たら今のまま残して欲しいですが、必ず大工は左官がつきものなので 1年のうちに2か月か3か月覚え2年生で2か月か3か月覚えるなど、難しいかも しれませんが挑戦して左官コースを残して欲しいです。
田中委員	その辺の可能性というのは検討できないことではないと思います。
井上委員	1年生が4月から6月、秋から2年生という形はどうでしょうか？
森本委員	実際土木造園コースでは造園屋さんを育てるわけではないですが造園の 勉強をしていますので同じシステムに変えれば良いわけなので、不可能では ないです。 ただ土木造園コースにおいては専門性を持たれた先生がいるから成り立って いますが、マイスターでは大工と左官を両方担当できる先生が問題になって きます。それぞれの職人の先生は上手に教えていただいています、統括 する学校側の人間が絶対的に必要になると思います。
田中委員	来年以降は教える側の問題が結構大きいです。
森本委員	先生から育てないといけない状態になってます。
田中委員	マイスター科を卒業したOBにお願いするしか考えつかないです。 経営の問題もあり理想と現実の間にある程度の相互が出るのは仕方なく 我々の単独の力だけでは動かない部分はどうしてもあります。 職業能力開発協会ではブロック検定で援助していただいたりなどアシストが 必要です。
森本委員	私も職人の先生方の後釜に関しては難しい問題だと思います。 特に左官に関して言えば高齢化もあり何度か打診はしていますが左官組合の ラインは後釜となる人材が居ない状態で先行きが見えないです。 1年後2年後は何とかなくても5年後10年後となると先生がいません。 本来学校の経営陣はそれを踏まえて動くべきですが現場サイドに振ってきて いたので不満はあります。
田中委員	やっぱり棟梁という職業は大変ですね。
池田委員	自分は教えてもらったことがないので教えるのはやはり大変です。
太田委員	学校としては5年後を見据えて動かないといけないということですね。 私たちは2年間生徒を預かるということですが、普通の職人さんには難しい

と思います。

井上委員 例えば姫路市に協力を仰ぐという方法はないですか。姫路市も街づくりや空き家対策に力を入れています。人工が減るなか子供のうちから建築を教えて姫路市のことを考えようという団体もあり、そこを姫路市がバックアップしています。

森本委員 姫路市からこういう学校ありますよと宣伝してもらえないでしょうか。公的なお金を私立の民間に送るとするのは難しいと思います。ただ姫路城を使って修学旅行生を誘致したり、そのときに左官の体験とか瓦の体験とか大工の体験をすると今の修学旅行は体験型なので非常に広がりがあります。

こちらから出前に行かなくても向こうから来てくれるわけで、ふくらむ可能性はあるけども、学校がそこに着目するかどうかです。姫路市の方からタイアップのことについてうちの学校にプッシュしていただければ色々な意味でマイスター科に関しては広がりが出てきます。以前JTBからのオファーがあったことなどは片山先生に報告していて、出来るかどうかで言うと私がいればできるというお返事でした。よって私がいなくてもやるという学校側のスタンスがあるかどうかです。コマーシャル効果は大きいので、仮にマイスターでマイナスが出て日本工科大学校ではそんなことやってるんやという認知度はぐっと上がってくると思います。

一生懸命動画あげるよりは、そちらの方がインパクトは強いと思います。

田中委員 左官は目立つしある意味客寄せパンダ的な要素はあります。

森本委員 私もそう思います。

井上委員 姫路城の前で漆喰の実習をやるのは面白いと思います。

森本委員 すごい宣伝になりますね。

森本委員 観光客を受け入れるといいと思います。

お城という材料があるからマイスターを立ち上げたわけで、お城があるから大工左官が必要であるという本来の主旨があります。

人が来なくなったからとか左官の人气がなくなったからやめようとなっていますが、左官は人气が無くなったわけではないです。

今回左官コースは6人から2人になっていますが、また10人では困りますが5人になる可能性はあります。

コマーシャル効果を狙うというか、少数制でいいと思います。

たくさんの人材を送り出すということではなく、こんなことに取り組んでいる学校ですよとアピールできます。

太田委員 古民家の再生は骨組みがあるので後は肉付けだけです。だから左官仕事もそこまで難しくないと思います。

森本委員 メリットは何よりも生きた教材があるということです。

田中委員 マイスターの学生に2年間どうだったかと話を聞いたら、辛かったとか飽きたということではなく、全員が面白かった楽しかったと言っていました。

太田委員 形があるものを作らせるからかなと思います。

森本委員 井上社長から送られてきた竜野の映像もすぐグループLINEにあげましたので充実感や満足感はあると思います。

私は意図的に画策します。

田中委員 建築土木コースと決定的に違うのが全員楽しかったという点で、珍しい学科だと感じました。

森本委員 楽しかったとか面白かったというのが一番の誉め言葉です。

勉強になりましたより面白かったでいいんです。

太田委員 インターンシップへ1週間に1度行けばどんどん形が出来上がっていくので学生たちは面白かったと思います。

森本委員 学校では何もできなかった学生が社会で活躍していると聞くと驚きでもあり嬉しさでもあります。

教育の中でいえばそういう面白さがあるのでやめられなかったです。

井上委員 子供の成長を感じるとやっぱり嬉しいですね。

池田委員 女子まで左官コースへ入学してきますので、時代の変化を感じます。

田中委員 親方の時代ですと現場へ入るのに10年かかったのが今は5年程と聞きます。

森本委員 その中でもプロの目から見るとうちの評価は高いです。

- 企業と接する立場としては浜崎組にしろイスルギにしろそこまで出来る様でしたら十分ですと言っていただけます。
- 井上委員 この学校へ入学したら上手に教えてもらえ2年でここまで出来るようになる
とアピールしていかないといけないです。
- 池田委員 口頭ではなかなか理解できないので、体験させる等しないと左官という職業
があること自体分からないです。
- 太田委員 姫路城を守るためにという言葉を使ってアピールしてはどうですか？
- 森本委員 私はオープンキャンパスの時に必ず姫路城を塗りたないか？と言います。
うちのOBは姫路城を塗ってるというと驚きます。
- 太田委員 前の修繕工事に参加した職人は未だに自分が携わったと言っています。
財産を守る為にもこういったことを先生から学校へ言ってもらいたいです。
- 田中委員 できるだけマニュアル化し、どんな先生が担当しても進められるように
したいと思っています。
トラブルも覚悟はしていますが、やらざるを得ない状況です。
大工コースの中で左官も学ぶという形は考えられない話ではないと
思います。
- 森本委員 工業高校では2年生になってから土木か建築を振り分けますので、そういう
やり方も良いと思います。
どちらも経験し、2年生になってから2級の検定を受けるという改善をする
べきだと思います。
- 井上委員 迷う学生は大工中心にしてその中で左官も覚えて社会に出ていく時に選択
してくれる方が良いです。
- 森本委員 ただ、就職させる側からすると就職活動に支障があります。
左官が断られることはまずないですが、左官の会社にどう売り込むかという
話です。
- 井上委員 たとえ数か月でも大工の学生が左官を覚えてもらえたら現場の親方になると
嬉しいことです。
- 森本委員 だから最終ではなく1年生の途中くらいから方向性は決めていき、就職を
狙うのであればターニングポイントをもう少し下げた方がいいと思います。
- 太田委員 社会にそれだけニーズがあるなら学校ももっとアピールして欲しいです。
- 森本委員 今のカリキュラムやシラバスの内容はかなり変えることにはなりません。
- 田中委員 1年生で大工と左官を短期間覚え、2年生でどちらの就職先を選ぶか決めて
もらうという形ですね。
- 井上委員 2年あれば準備はできると思います。
- 森本委員 それを誰がするのかという問題があります。
- 井上委員 それをできる先生を探す必要がありますね。
- 田中委員 それこそ卒業生とかどうですか？
- 森本委員 今のところマイスターの卒業生は無理だと思います。
これから所帯を持とうかという若い世代にうちの給料が見合うかという問題
があります。職人や現場監督は何か月かで我々の給料は抜きますから、
金銭的な面で難しいと思います。
左官コースの廃止に関しては、売り言葉に買い言葉で廃止に賛成しましたが
こういう評価をいただけてますし、本音では惜しいと思っています。
後悔しなければ良いと思います。
- 田中委員 皆様のご意見を今後の検討事案として議事録として残しておきます。
学生に迷惑をかけるわけにいかないですし、職人になりたくて入学している
ので少しでも満足してもらえようやっていくしかありません。
- 森本委員 かつて建築コースの卒業生において学校への不満はありましたが、
マイスター専攻科では無いので評価は下げて欲しくありません。
- 田中委員 就職がうまくいかなかった学生でも面白かったと言っているのではやはり
学校としての行いは間違っていないし先生方の教えも納得はしています。
- 池田委員 それはよかったです。
- 森本委員 学生のためと思ってるのは皆さん一緒なんです。
ただ、職人さんと学生は一線引かないといけないと思います。
学生が可愛いのは分かりますが、飲み物を買って与えるなど線引きは大事だと
思います。

田中委員	そういうわけで、皆さんのご意見を参考にしながら何とかマイスター専攻科をやっていくしかありませんので、今後も皆さんにご相談させてください。
森本委員	私のジャッジになりますが、学生指導においては田中先生はベテランになりますから棟梁は素直に聞き入れてあげて欲しいなと思います。また棟梁へのリスペクトがありますので実習内容には口出しししないです。よって棟梁から実習内容を田中先生に提案してもらう形が理想的です。
太田委員	急に材料がある場合、こちらで段取りして領収書を渡すのは可能ですか？
田中委員	そういった場合へ対応する準備はできています。
太田委員	なるべく前もって要望はあげようとは思っています。
田中委員	その辺は柔軟に対応していきます。
森本委員	木材については使用目的まで書き添えていただきたいと思います。
田中委員	最初はトラブルも想定していますがそのうち上手くなると思います。本日は貴重なご意見をありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
	3. 閉会

以上